

平成27年5月3日(日)に、2病棟(介護療養型病棟)では初めての取り組みとなる「院外遠足」を実施しました。入院してから外出をしたことがない患者様を対象に、『三豊市財田町の香川用水記念公園』に行きました。患者様4名とご家族11名が参加されましたが、好天に恵まれ、ふじの花もきれいに咲いていました。患者様より「きれいに咲いとるなあ」との声が聞かれ、久しぶりのご家族揃っての外出で、ゆったりとした時間を楽しまれていました。

2病棟(介護療養型病棟)



●次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業 香川県内第39号に認定



平成27年6月9日、香川労働局長より『基準適合一般事業主認定通知書』を授与され、認定マーク『くるみん』3回目を取得しました。県内で3回目を取得した企業は3社です。計画期間は、平成23年11月1日から平成27年3月31日、目標は「子供が生まれる際の父親の休暇取得の促進」でした。ポスター掲示等、取得促進を図った結果、計画期間中の対象者8人のうち4人が取得しました。

今回取得した男性職員は、初めて子育てデビューをしたホヤホヤの「イクメン」達です。慣れない子育てに悪戦苦闘しているようですが、お互いの悩みを共有し合いながら育児を楽しんでいるようです。これからは私達、委員会メンバーは、男性職員が働きながら安心して子育てができる環境づくりを促進し、「イクメン」達をサポートしていきます。

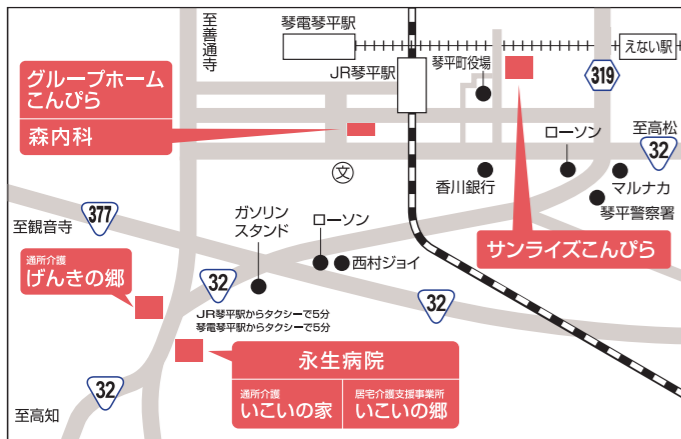


両立支援推進委員会

【編集後記】

当院では、6月より電子カルテを導入しました。電子カルテを導入することで、業務の効率化を図り、今まで以上によいサービスを行っていきたく考えています。

今年も昨年同様、暑い日が続いています。気温が高くなると体温調整のために汗をかき、体内の水分が失われやすくなっています。のどが渇いたと感じていなくてもこまめな水分補給を心掛けましょう。また、しっかりと休養・睡眠・栄養をとり、今年の夏も元気に乗り切りましょう!



永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

医療法人 圭良会	
● 永生病院	香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
● いこいの郷 (居宅介護支援事業所)	Tel 0877-73-3655
● いこいの家 (通所介護)	Tel 0877-73-3718
● げんきの郷 (通所介護)	仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
● 森内科	香川県仲多度郡琴平町1167 Tel 0877-73-4188
● グループホームこんびら (認知症対応型共同生活介護)	Tel 0877-73-0811
● サンライズこんびら (小規模多機能型居宅介護)	香川県仲多度郡琴平町権井字池田451番地1 Tel 0877-58-8600

永生病院広報誌「ゆるめき」第40号
発行元：医療法人 圭良会 永生病院
編集者：医療サービス改善委員会
住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
TEL:0877-73-3300
FAX:0877-73-3202
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp
発行年月日：平成27年8月1日

ゆるめき

【理事長のあいさつ】
地域医療構想策定ガイドライン

【うまげな話】
「ビタミンDの効能」

【健康ひろば】
「嚥下造影検査について」

【委員会活動紹介】
環境整備委員会

【行事報告&お知らせ】
電子カルテ導入

介護実習・養成校での講演

遠足

次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業
香川県内第39号に認定

【編集後記】

■ 病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■ 基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

■ 患者の権利章典

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1. 医療を受ける権利 | 3. 知る権利 | 5. 学習する権利 |
| 2. 自己決定権 | 4. プライバシーに関する権利 | 6. 参加と協同 |



地域医療構想策定ガイドライン

7月早々から次々と台風が発生し、今年も猛暑の夏となりそうです。

6月の新聞報道で、「病床1割削減可能」政府25年需要を推計、と発表された。医療関係者はこの突然の報道に驚愕し、これから高齢者が急増していく時代になぜ?と思いました。正確には、政府の「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会」が、2025年の必要病床数の推計を診療報酬のレセプトデータから一定の算定式を用いて予想した数値ということでした。

病床機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)ごとの入院する確率から2025年の患者数の推計を行い、必要病床数を算出したとのことですが、公表された内容は、現在の既存病床数134.7万床に対し、2025年の必要病床数は115万~119万床と推計された。必要病床数の内訳は、「高度急性期」が13.0万床、「急性期」が40.1万床「回復期」が37.5万床、「慢性期」が24.2万~28.5万床程度となった。算定式は、地域医療構想策定ガイドラインに示されており、今後の地域医療構想に盛り込む現実的な必要病床数となるのでしょうか。また、削減される病床数の受け皿を在宅医療へとシフト

させたい方針が強く感じられ、期待されるような医療体制が実現するのか疑問に思います。2025年に向けて膨らんでいく医療・介護費用の単なる抑制策なのでは?とも思われます。

政府の進めたい在宅医療には地域間格差がかなりあり、病院間連携にもまだまだ課題があります。住み慣れた地域で最後まで受けたい医療・介護が平等に受けることが出来ることを目指した地域医療構想ですが、消費税に財源を求めた地域医療総合確保基金がどのように効率よく使用されるのでしょうか?不透明な部分が多く、説明が求められます。



理事長
森 伊津子



【第12回】~小さいけど大きなパワー~ ビタミンDの効能

ビタミンDは、骨や歯の成分であるカルシウムやリンなどの吸収、形成に欠かせないビタミンです。今回はこの「ビタミンD」についてご紹介したいと思います!

ビタミンDの主な効果効能

- カルシウムやリンの吸収・骨や歯の成長促進
- カルシウム濃度の調整・筋肉の収縮

1日あたりの摂取目安量	男性	女性
成人	5mg	5mg
60歳以上	5mg	5mg

青背魚に多く含まれており動物性食品に含まれるビタミンDは吸収率が高いのが特徴です。

ビタミンDを多く含む代表的な食品とは...

ビタミンDを多く含む食品	含有量(ug)/100g中	ビタミンDを多く含む食品	含有量(ug)/100g中	ビタミンDを多く含む食品	含有量(ug)/100g中
乾燥きくらげ	435	いくら	44	うなぎの蒲焼き	19
アンキモ	110	クロカジキ	38	さんま	19
しらす干し	61	紅さけ	33	干しいたけ	16.8

簡単でおいしい、スピードメニュー!!

うまげな梅しらすどんぶり料理カード 4人分

材 料 梅干し:3ヶ 青しそ:3枚 しらす干し:大さじ2杯
もみのり:少々 薄口しょうゆ:小さじ2杯
ごはん:4人分

作り方 ①梅干しは種を取って細かく刻む。
②青しそは千切りにして水にさらした後、水気を切っておく。
③熱いご飯に薄口しょうゆを混ぜ合わせる。
④③のご飯の上に①の梅干し、②の青しそ、しらす干し、もみのりをのせると出来上がり!



健康ひろば 第27回 テーマ 「嚥下造影検査について」

当院では毎週木曜日に嚥下造影検査(えんげぞうえいけんさ)を行っています。嚥下造影検査とはエックス線(レントゲン)で口から喉を透視しながら水や食べ物を飲み込む様子を観察する検査です。これによって飲み込んだ時に水や食べ物が口の中でうまく貯められるか、食べ物が上手に嚥めているか、喉をどのように通っているか、喉の途中で残っていないか、気管に入りこんでいないかを評価することができます。

飲み込みにくさの問題が口や喉のどの部分で起こっているのかを評価し、どのような水(トロミの有無)や食べ物(かたさや大きさ)であれば安全に飲み込むことができるか、どのような姿勢(背もたれの角度や顔の向き)であれば安全に飲み込むことができるかを検討することができます。

この検査を受けて頂く方は、当院に入院中もしくは外来やグループホームにいられている方の中で、飲み込みが難しくなっていると疑われた方です。検査を受けて頂く前に、飲み込む際の喉の動きや、実際に水を飲む様子を評価する必要があります。事前の評価は看護師や言語聴覚士、歯科衛生士が行っています。検査にはリハビリテーション科の医師、病棟・外来看護師、言語聴覚士(嚥下を勉強した理学療法士・作業療法士)、管理栄養士、放射線技師、ケアマネージャー等が関わり、検査の様子は患者さんご自身やご家族の方に一緒に見て頂くことができます。



リハビリテーション科 医師 安永 雅

● 電子カルテ導入

当院では、平成27年6月より電子カルテを導入しました。半年前より準備を進め、6月より本稼働しました。まだまだ慣れない作業に悪戦苦闘の毎日で、患者様にご迷惑をお掛けしているかと思いますが、できるだけ早く院内の環境を整え、より安心安全な医療・介護を提供できるよう職員一同、一丸となって取り組みます。

● 介護実習・養成校での講演

今回、初めて香川短期大学より3名の教員と26名の学生が授業の一環として、当院に介護実習に来ました。実際に吸引方法を体験したりソフト食を試食したり、他の施設では見られないVF(嚥下造影)の映像などを見ることで、学生や教員から「実際に見る事ができて良くわかった。」との声が聞かれました。

また、去年に続き、県内にある介護福祉士養成校3校で「介護療養型医療施設の紹介とそこで働く職員について」という演題で講演を行い、当院での介護職の仕事内容や現場の職員の声を紹介しました。学校ではあまり馴染みのない「介護療養型医療施設」ですが、学生からたくさんの質問があり、興味を持ってもらえる良い機会になったと思います。



病棟 介護福祉士

委員会活動紹介 ⑥

環境整備委員会

病院職員、介護事業所職員と委託業者とで、月に一度、環境整備委員会を開催しています。

委員会の活動内容としては、月に一度、委員が各部署の巡視を行い、先月巡視した箇所が改善されているか、また、新たに気になる所はないかをチェックシートに記録し、各部署に院内環境や清掃について依頼しています。また、年に一度、院内・各事業所内の床洗浄とワックスがけ・窓ガラスや網戸の清掃を行っています。作業中は患者様、ご面会の方にもご迷惑をおかけしていると思いますが、皆様のご理解のもと、期間内にスムーズに実施できています。ご意見箱や来院された方から、「いつもきれいにしていますねー」という、うれしいご意見を頂くこともあります。今後も委託業者と委員で意見交換を行い、清掃について情報を共有しながら、患者様・利用者様が院内、事業所内ですこしやすい環境となるよう努めていきたいと思っています。

環境整備委員会